

令和5年 第10回米原市定例教育委員会

日 時：令和5年10月24日（火） 午後3時30分開会
場 所：米原市役所 コンベンションホール

(出席者)

教 育 長：馬淵教育長
教 育 委 員：中川委員、本庄委員、膽吹委員、法戸委員
教 育 部：口分田部長
教 育 総 務 課：梶田課長
学 校 教 育 課：北川課長
ス ポ ー ツ 推 進 課：高木次長
生 涯 学 習 課：平山課長
函 書 館：梶川館長
学 校 給 食 課：花部課長
書 記：奥村、辻村

(欠席者)

教 育 委 員：井口委員

1 開 会

2 教育長挨拶

皆さんこんにちは。学校も2学期に入りいろいろな行事が行われています。小中学校ともに、運動会や体育大会は全ての学校で終了しました。大きな事故もなく終わったことを非常に喜んでいきます。また、修学旅行は今週行く小学校もありまして、もう少し残っています。ただ、心配なのはインフルエンザが流行してきていることです。コロナは少し沈静化しているようですが、今日現在で山東小学校は5年生、息長小学校は3年生、坂田小学校は1年生、4年生、6年生で計4学級の合計6学級が学級閉鎖になっていて、25日、26日までの2日間または3日間の学級閉鎖になっています。コロナの時は土日含めて5日間の学級閉鎖だったのですが、インフルエンザの場合は少し日数が短いので大きな影響は出ないと思いますが、今後広がり懸念されるようです。

話は変わりますが、例年、秋になると文部科学省が児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査というものを発表しています。令和4年度の結果ですが、いじめの認知件数、不登校、暴力行為の発生件数がいずれも過去最多ということになっています。とりわけ不登校については、令和3年度は小学校8万人、中学校16万人の合計24万人であったものが、令和4年度は小学校10万人、中学校が20万人の合計30万

人ということで、6万人近く増えてきているということです。この不登校の定義を確認しますが、「何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者、ただし、病気や経済的理由によるものを除く。」ということです。その数が日本全国で30万人近くいるということで由々しき事態になってきているところです。米原市は滋賀県や全国と比べてその在籍率はどうかということですが、令和4年度は、小学校は全国が1.70%、滋賀県が1.59%、米原市が1.17%です。中学校は全国が5.98%、滋賀県が5.33%、米原市が4.10%ということで、滋賀県や全国よりも多少低い状態であるということです。ただ、この中学校の全国ですが、5.98%というとおよそ6%で、100人に6人ということなので、3学級で割っても1学級に2人は不登校の子どもがいるということです。これは相当深刻な状況になってきているように思います。各学校で保護者と連携しているところと対応しているところですが、なかなかすぐに解決するような状況にない現状があります。こういう子どもたちが米原市の場合は、教育支援センター「みのり」であったり、市内外のフリースクールであったり、中学校に新しく設置したステップフォワードプログラムであったり、そういうところに行く子どもも出てきています。現在、ステップフォワードプログラムは2人の中学生が入って、社会的自立に向けて活動しているところですが、こういった施設に対する県内他市の市長の見解が相当波紋を呼んでいるところで、なかなか沈静化していかない状況です。教育機会の確保もあり、教育を受ける権利をしっかりと保障する上において、文部科学省はフリースクール等を認めてきています。私達もそういうふうを考えていて、米原市はステップフォワードプログラムをしていますが、やはり地域にもそういうことを発信していかないといらぬ中傷が出てくる可能性もありますので、気をつけていかなければならないと考えています。いずれにせよ、この不登校というのは大きな課題ですので引き続き教育委員会としてもできる対応をしていきたいと考えています。以上、最初の挨拶とします。

3 会議録承認

令和5年第9回定例会議事録

4 所属長報告

(1) 教育総務課長

報告事項につきましては、10月3日に米原市議会第3回定例会が終了しています。10月5日にはオータムレビューと呼んでいます政策課題3役協議が開催され、令和5年度の各事業の進捗状況、令和6年度の重点施策の協議を行いました。10月17日は滋賀県都市教育委員会連絡協議会の県内研修を開催しました。教育委員の皆様にも御出席いただきありがとうございました。当日は60人の参加を得ることができました。10月18日には健康福祉教育常任委員会協議会において、学校施設工事の現場視察として、米原小学校と米原中学校を視察していただいています。

今後の予定につきましては、11月1日には米原市の教育行政の点検・評価に関する

懇話会を予定しています。11月2日には滋賀県教育委員会と滋賀県都市教育委員会連絡協議会との意見交換会が行われます。11月3日、4日の2日間にわたり、第67回滋賀県人権教育研究大会（米原大会）が開催されます。教育委員の皆様におかれましては連続しての御案内となりますが、よろしく申し上げます。11月9日には米原市議会第3回臨時会が開催されます。11月9日、10日には滋賀県都市教育委員会連絡協議会の県外研修が開催されます。11月21日には第11回定例教育委員会を予定しています。

（2）学校教育課長

報告事項につきましては、市内の小中学校の運動会を全て終えることができました。10月16日には柏原中学校において、世界的ブレイクダンサーのTAISUKEさんに来ていただきましてダンスイベントを行いました。その場で校長から次年度ダンス部を創設するという宣言も高らかに行われたところです。この模様につきましてはびわ湖放送でも放送されましたので、今でもインターネット等で検索していただくと放送された動画を見ていただくことができる状況です。

今後の予定につきましては、10月26日に小学校の連合運動会ということですが、近江地区につきましては、6年生のインフルエンザの感染状況が良くないということで、中止が決まりました。山東地区と伊吹地区については、今のところ実施するという確認をしています。10月31日には教職員の30年の永年勤続を迎えられた市内6人の方に滋賀県から感謝状が届いていますので、贈呈式を行います。11月3日、4日には滋賀県人権教育研究大会（米原大会）を行います。教育委員の皆様にも御参加いただけるということですのでよろしくお願いいたします。また、人事訪問を行っているところですが、その後は市教委訪問ということで、市内小中学校を周っていただきます。こちらもお世話になりますが、よろしくお願いいたします。

教育センターの今後の予定につきましては、米原市子ども美術展を11月10日、11日、12日と近江はにわ館にて開催します。

（3）生涯学習課長

報告事項につきましては、10月1日は伊吹山奉納太鼓踊と朝日豊年太鼓踊、そして10月7日から9日は米原曳山まつりが開催されました。全て教育長に御列席をいただき、久しぶりの太鼓踊の再開のシーンや子どもたちが大変頑張っているシーンがあり、地域の大人も子どもたちに教えながら頑張っておられる様子がよく伝わってきまして、地域の伝統を見ることができて非常に良かったと思います。

今後の予定につきましては、第4回きらめき人権講座です。市民向けの講座を年4回行っていますが、少しマンネリ化しているところの改善ということで、平日の夜にいつも行っているところを土曜日の昼間に1回行ってみようという企画をしています。その中で、中学校との共催で、今回は被差別部落で生まれて、8歳で日本人になられた方のお話を中学校の生徒と保護者が一緒に講演を聞くことを考えています。こうした話を直接当事者から聞く機会を作る形で今回実施させていただく予定です。11月19日

から3日間、山東学びあいステーションの主催で通学合宿を開催されます。去年は初日の夜泊まった時に何人か帰りたいという方がいらっしゃいましたが、3日目にはもう家に戻るのが寂しいというぐらいになっていました。子どもたちはこの3日間の合宿を通して、大人たちに支えられながらものすごく成長されます。この合宿の特色として、2日目の夜にもらい湯と言いまして、地域の方の家でお風呂に入れてもらって御飯を御馳走していただくということがあり、そうしたことも含めて非常に良い社会経験をされて成長されます。これもその家から帰られる時は、子どもが涙ぐむような場面もあるということで、本当に子どもたちにとって素晴らしい企画をしてくださっています。

(4) 図書館長

報告事項につきまして、10月20日に長浜信用金庫・長浜信用金庫信友会の寄附金および寄贈図書贈呈式を近江図書館で開催しました。これは長浜信用金庫創立100周年と長浜信用金庫信友会設立60周年を記念して、米原市立図書館に寄附金と寄贈図書をいただいたものです。関連しまして、10月21日に長浜信用金庫信友会地域貢献活動をしていただきました。これは寄附だけではなく、長浜信用金庫の職員の皆さんがボランティア活動をすることで地域の恩返しをされるというもので、米原市立図書館では、山東図書館の秋のお祭り読書リレーをお手伝いいただきました。

今後の予定につきましては、10月30日からびわ湖東北部地域連携プラットフォーム事業「BOOK QUEST」を行います。これは滋賀県立大学、長浜市立図書館と米原市立図書館が連携して行っている事業の1つで、学生の提案による本の企画展示です。モヤモヤ、ドキドキなどの気分をキャラクター化されてゲーム風に紹介するものです。

(5) スポーツ推進課長

報告事項につきまして、全国大会等出場報告会および出場壮行会は、37人の方に出席いただきました。鹿児島県で開催されました特別国民体育大会に国スポ・障スポ米原市実行委員会も含めて視察に行ってくださいました。名称につきまして、本年度の鹿児島県までは国民体育大会、来年度の佐賀県からは国民スポーツ大会、略して国スポとなります。次にFor the〔国スポ・障スポ2025〕～ジョイスポパーク～ですが、当日、雨や強風で一時中断などもありましたが、関係者の御協力により何とか開催することができました。昨年度に引続きスペシャルゲストとして芸能人のロッチ中岡さんや先ほど学校教育課の報告でも話がありました、世界的なブレイクダンサーであるTAISUKEさんらに参加していただきました。

今後の予定につきましては、全国スポーツ推進委員研究協議会が、昨年度は滋賀県で開催されましたが、今年度は青森県で開催されますので、スポーツ推進委員7人に出席していただきます。各地区スポーツ振興会の事業ですが、恒例の秋のイベントとしまして米原地区でマラソン大会、近江地区でビーチボール大会を開催していただきます。なお、山東地区は10月22日にバレーボール大会を開催されまして、伊吹地区

は10月9日に伊吹ふれあい体育祭を予定されておりましたが、雨天のため中止となりました。

(6) 学校給食課長

報告事項につきましては、市内の小学1年生を対象に「好き嫌いをなく食べよう」と題して食に関する指導を10月2日から実施しました。現在は5年生を対象として「魚について知ろう」と題した食に関する指導を行っているところです。

今後の予定につきましては、レーク伊吹農業協同組合を通じて地元の農業関係者の御協力のもと、野菜の収穫体験を11月下旬に計画しているところで、米原小学校、春照小学校、山東小学校で実施する予定です。

5 所属長に対する質疑

A委員 : 2点感想です。1点目は、いじめの報告の数が結構ありまして、それを読ませてもらっていて思ったのですが、今回の27事例のうち8件程度が保護者からの電話連絡などで、7件程度は子どもたち本人が嫌な思いをしたということを先生に話してくれて分かったと書いてあります。これが少なくなることが本来の目標ですが、人間の性として、ゼロにはなかなかならないだろうとよく言われます。ただ、保護者が学校の先生に言ってくる前段には、子どもたちが家で喋っているから保護者のフィルターを通して学校へ話されている。また、子どもたちが自分たちで話してくれていることもある。何が言いたいかと言いますと、以前から言われていますように、時代によっては自分だけで黙って心の中にしまっつらい思いしていることがたくさんあったであろうことを考えると、報告が多くあることは非常に残念なことです。裏返してみればそれだけ言いやすい雰囲気や環境であり、学校の努力によって対応が浸透してきていることの1つの証かなということも感じました。何回も言っていますように、こういうこと自体が無くなるのが目標ですが、過渡期として子どもたちは自分の心に置いておくだけでなく、こんな嫌な思いをしたということを周りの誰かに話せるということは、良いこととは言えないですが、1つの方向性が出ているということではないかと思えます。反面、こういうことが増えてきますと学校の先生も非常にストレスになると思えます。1つ1つの事例の内容は別にして、新聞でいじめの数が増えてきているという話もありますが、一概に増えているから減っているからどうということではなく、背景も見た上で少しずつでも良い方向に向かっていると良いなと思いました。2点目は、新聞やネットで他市の市長の発言が非常に話題になっていますが、15年ほど前で時代も違いますが、仕事で当時浜大津にありました、滋賀県心の教育相談センターという不登校の相談に特化した、滋賀県教育委員会が設置している機関に

3年間いました。そこは、保幼小中高の子どもたちが直接来ますし、保護者、学校の先生、施設の指導者などいろいろなところから相談に来られて、臨床心理士や相談員が20人ほどいて、相談を受けるという機関でした。時代が時代でしたので、今でいうSSW（スクールソーシャルワーカー）はほとんどなくて、私が行っていたところが試験的に文部科学省の補助を受けてやりだしたり、スクールカウンセラーも少数設置されたりしている状況でした。今の米原市でいう、みのりのような相談機関は米原市にはもちろんありませんでしたし、滋賀県下でも5つぐらいしかないような時代でしたので、今から思うと問題は大きかったです、なかなか難しいところにいました。私はそういう経験をしてきたので、他市の市長の発言で、保護者が尻を叩いてやらせないからいけないみたいなことがあったと思いますが、あれは私の経験ではもう全体的を射ていないなと思います。散々泣いて悩んで、もう行き場がないから来たという方がほとんどでした。保護者は何とか行ってほしい、暴力をするという方もいたかもしれませんが、決してそうではなくて、何とかならないかと思って来られている方がほとんどでしたので、短絡的に親が行かせないから悪いというようなことはちょっと時代錯誤だなというのが私の感想です。その時の経験でこれは良かったと思いましたが、訪問指導員でした。家に籠ってしまって学校はもちろん、家も一歩も出られないという子どもが特に中学生にたくさんいました。これが大きな問題になっていて、社会問題にまではなっていませんでしたが、子どもが手首を切るというようなこともたくさんありましたので、非常に深刻で重たいケースがたくさんありました。そこで何とかしなければいけないということで、当時全国で1校だけの臨床心理士養成コースがあった京都文教大学の学生をアルバイトで5人ほど雇って、本人もOKで家族もOKという家庭に週に1、2回ぐらい行って、直接家に上がって行って、子どもと一緒に遊んだりゲームしたりしながら、少しずつ自立に向けていかという取組をしていました。万が一子どもを追い込んでしまったらパニックを起こすような非常に危険な授業でしたが、それをやって非常にいろいろあり、結局取り組んだ12、13人のうち5人ほど家を出ることができて、学校には行けていませんでしたが、何年ぶりに床屋さんに行ったとか、こんなコンビニがあることを知らなかったということがありました。その当時と今の社会問題と何も変わってないような気がします。だからそれだけ難しい問題だと思っています。若者が子どもたちと一緒にサッカーを家の前でするというようなことから、ちょっとずつ行ったことで成果を得た事例があるので、フリースクールの問題がいろいろ出ていますが、フリースクールは自分から出かけて行かないといけない施設ですので、何かその辺りのヒントもあるのかなということを思いまし

た。今後政策として出てくるのかなというようなことを思っています。

B委員 : 伊吹山テレビを見ていて知ったことですが、伊吹山奉納太鼓踊に笠破りというユニークな伝統行事があることを知りました。あの自由な衣装で踊られている様子を見てみると、昼の緊張感ある厳かな様子とはまた違う雰囲気良かったと思います。このように地域で取り組まれていることや学校での様子などを紹介してくださるので、いろいろな情報を得る良い機会になっていると思います。

C委員 : いじめ問題行動等が本当にたくさんあって、どんどん増えてきているように思いますが、いつも言っているように、こうして報告が出てくるということは、本当に子どもたちが言えるようになってきたので保護者も言えるようになってきたということだと思いました。同じ子どもが加害にも被害にもなるという形の問題行動がたくさんあって、担任の先生も含め、学校の先生も大変だと思いますが、心の不安定さが日常にあっているいろいろな部分できっと加害の子も思う部分がたくさんあるのだろうなと感じますし、同じ子どもが不安な気持ちでいろいろなことをしてしまう部分を、何とか解決できないかなということを本当に感じています。心を安定させるためには、やはり心を開かせる対応が必要で、日常そういうことに気がつく学校で子どもたちが心を出せるような場を、随時できるだけ作れるように対応してもらえるとありがたいと感じました。もう1つ、不登校の話で、今はフリースクールや子ども食堂など、子どもたちが不登校でも出ていく場が選択できるようになってきています。不登校の子どもたちの話を聞ける場が地域にありますので、保護者が選んで、行っても大丈夫だよということを伝えていく努力もとても大切かと思っています。もう1つ、山東学びあいステーションが通学合宿をしてくださるということですごく良いことだと思いました。私の子どもが小学校の時に岐阜県安八郡の子どもとの1泊2日の交流があって、自分の子どもが向こうの家庭に行って泊まって、その後、向こうの子どもがこちらに来て、自分の家に泊まるという交換合宿みたいなことをしていただいたことがありました。その時に違う地域の子と仲良くなって、終わって別れることにすごく寂しい思いをして帰っていったという経験をしたことがあり、こういう子どもたち同士も家庭同士も関われる機会はとても良いことだと今更ですが感じました。もう1つ、子ども食堂のような場所で、高校生の子どもたちが不登校の中学生の子どもたちに勉強を教えるとか、地域の年上の子が時間がある時にそういった場所に行って勉強を教えたり、一緒に遊んだりするようなことをされているところもあると聞きまして、それもすごく良いことだと感じました。

D委員 : 息長小学校の運動会の感想です。当日天気は良かったのですが、風が非常に強くてテントの設営が心配でしたが、しっかりと設営されていて問題なく終えることができました。駐車場も多分混んでいるだろうと思って私は原動機付自転車で行ったのですが、保護者が協力し合いながら乗合で来られていたので、十分止められる状況でした。開会式後にプログラムが始まったわけですが、低学年も高学年もリレーと 50m 走や 100m 走があって、どの子も一生懸命最後まで走っていました。特に低学年は大丈夫かなと思っていましたが、しっかりやっていました。それと、低学年はダンスをしていて、みんな参加意識も高くして一生懸命やっていました。一番感動したのが高学年の団体演技、我々の時で言うと組体操みたいな演目ですが、他の小学校がどういうふうにされたか分かりませんが、息長小学校の場合は、音楽も言葉も無く、先生が台の上に立って笛と仕草だけで演目が進んでいました。かなりの種類があったのですが、それだけでどんどん進んでいって、観客も真剣に見ていましたし、低学年の生徒たちもじっと見入っていて、本部席にいても話し声がしないという中で、だんだん引き込まれるような状況でした。終わった瞬間に感動の涙が溢れてくるような感じがしました。過去にそういう思いをしたのは、かなん認定こども園の卒業式で卒園する子どもたちが一生懸命やっているのを見た時でした。本当に先生たちもよく指導されていて、子どもたちも勝手に動くことも無くちゃんとできました。時間は 30 分ほど遅れたようですが、遅れがあってもみんなきちっと最後の閉会式までできました。本当に良い運動会だったと思います。これが 1 日だったら低学年はどうかなという疑問はありますが、見に来ておられた保護者もおそらく感動されたのではないのでしょうか。特に団体演技では、後ろの方で涙を流しておられた先生もいらっしゃいましたので、良い思い出になったのではないかと思います。

6 議案審議

議案第 38 号 米原市スポーツ推進審議会委員の委嘱について 【スポーツ推進課】

(内容) スポーツ基本法第 31 条および米原市附属機関設置条例第 4 条第 2 項に基づき、米原市スポーツ推進審議会の委員を別紙のとおり委嘱したいので、この議案を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 39 号 後援等名義使用承認（後援）について
（内容） ○第 32 回定期演奏会「ブレーメンの音楽隊」

【学校教育課】

ー 以下、議案に基づき説明 ー

原案承認

7 報告事項

（1）年末年始休館に係る個人貸出し冊数等の変更について

【図書館】

（2）後援等名義使用承認（後援）について

○第23回 少年少女野球大会 いぶきタケルカップ

【スポーツ推進課】

8 質疑応答

9 その他

（1）令和 5 年第 11 回定例教育委員会の開催について

日 時：令和 5 年 11 月 21 日（火）午後 3 時 30 分から

場 所：米原市役所 コンベンションホール

（2）令和 5 年第 12 回定例教育委員会の開催について

日 時：令和 5 年 12 月 20 日（水）午後 3 時 30 分から

場 所：米原市役所 コンベンションホール

10 閉 会

以上をもって令和 5 年第 10 回定例教育委員会を午後 4 時 24 分に終了した。